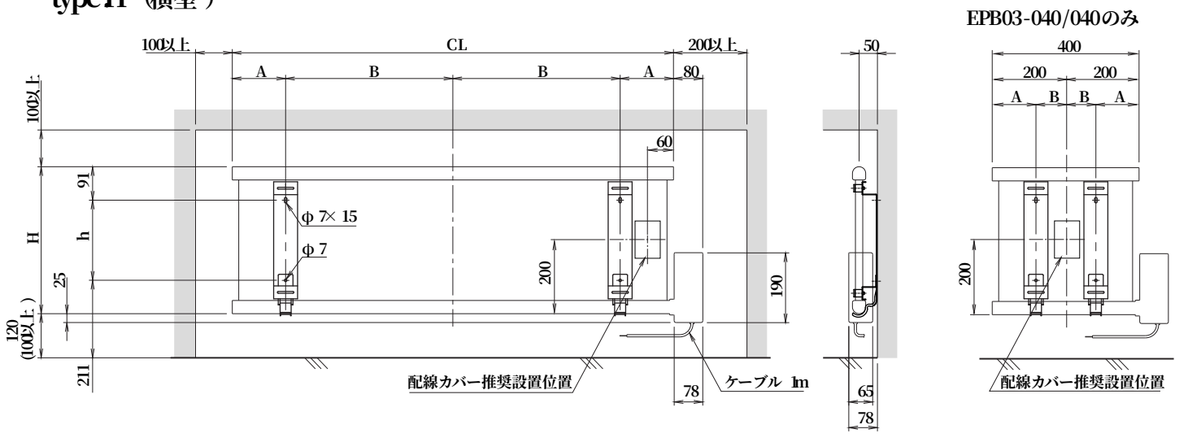
仕様 ・寸法

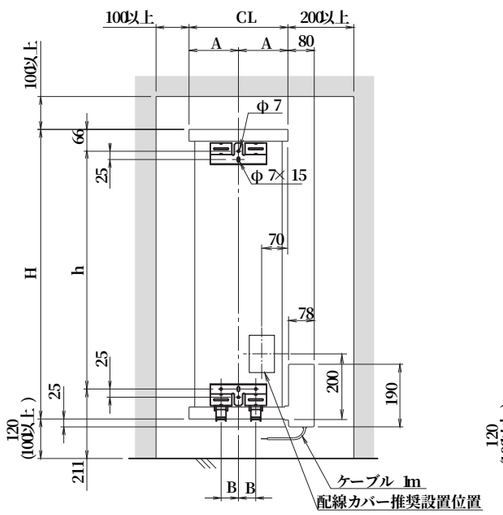
	型 式	ヒーター容量(W)	H (mm)	CL (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)	h (mm)	重 量 (kg)
typeH 横型）	EPB05-030/120	500	300	1200	145	455	—	118	17
	EPB07-030/120	700							
	EPB08-030/160	800		1600	345				22
	EPB10-030/160	1000							
	EPB03-040/040	300	400	400	110	90		218	7
	EPB10-040/120	1000		1200	145	455			21
	EPB11-040/160	1100		1600	345				28
	EPB13-040/160	1300							
	EPB07-050/070	700	500	700	150	200		318	15
	EPB16-050/160	1600		1600	345	455			34
type.V 縦型）	EPB05-160/022PV	500	1600	220	110	52.5		1443	11
	EPB07-160/030PV	700		300	150				16
	EPB10-160/042PV	1000		420	170	40	80		22
	EPB13-160/058PV	1300		580		120			30
	EPB18-160/082PV	1800		820	290				42

typeH （横型 ）

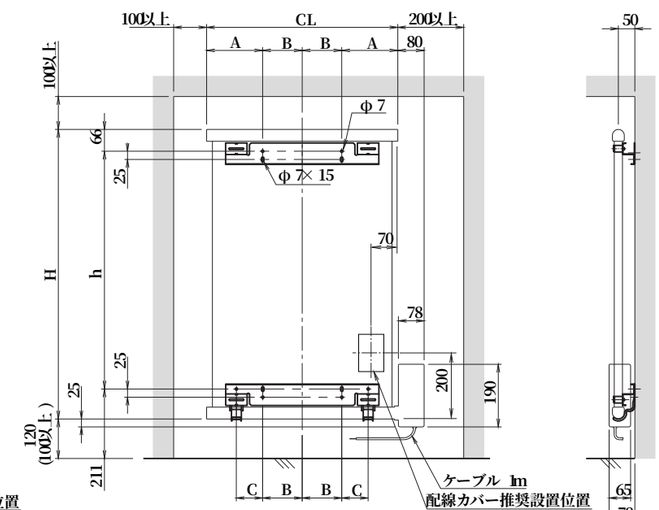


type.V （縦型 ）

CL = 220 , 300



CL = 420 , 580 , 820



認証取得 ISO 9001 ISO14001 OHSAS18001 http://www.asahi-grp.co.jp/
旭イノベックス株式会社 住環機器事業部
〒004-0879 札幌市清田区平岡9条1丁目1番6号
営 業 部 TEL011-883-8403 FAX011-883-8416

201306

電気パネルヒーター e-Nel
typeH / typeV 横型 /縦型）

認証取得 ISO 9001 ISO14001 OHSAS18001
ASAHI/NOVEX
販売店・工事店さま用

据付工事説明書

この度は、電気パネルヒーター「e-Nel」をお買上げ下さいましてありがとうございました。
取付工事の前にこの 据付工事説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、右記のとおりになっています

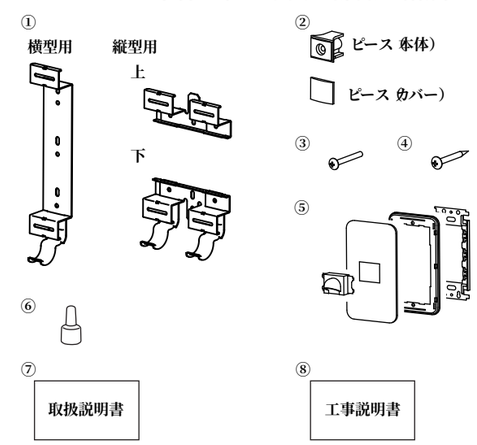
⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結び付く可能性のあるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの傷害に結び付くもの

パネルヒーター本体の確認

パネルヒーター本体に誤りがないか、型式を確認してください。

付属部品の確認

パネルヒーター本体の他に、次の部品が附属されていますので確認してください。

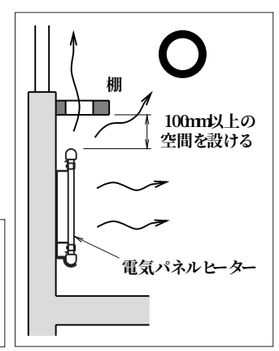


No.	部 品 名		数 量 横 型	数 量 縦 型
①	横型用ブラケット		2個	—
	縦型用ブラケット	上	—	1個
		下	—	1個
②	本体側ネジ止ピース		4セット	
③	トラス小ネジM4		L=30mm 4本	L=35mm 4本
④	トラスタッピンネジφ 5× 35		4本	CL = 220,300 6本 CL = 420,580,820 10本
⑤	配線カバー		1セット	
⑥	閉端接続子 CE5		3個	
⑦	取扱説明書		1部	
⑧	工事説明書 (本書)		1部	

設置位置

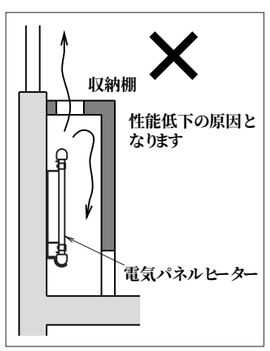
- 電気パネルヒーターを棚下に設置する場合、自然対流を妨げないよう 上部に十分な空間を設けてください。
  また、棚にスリット穴を設けるなどして熱がこもらないようにしてください。

⚠注意
棚下に十分な空間を設けませんと棚板が乾燥し、反り等の影響が考えられますので、十分注意してください。



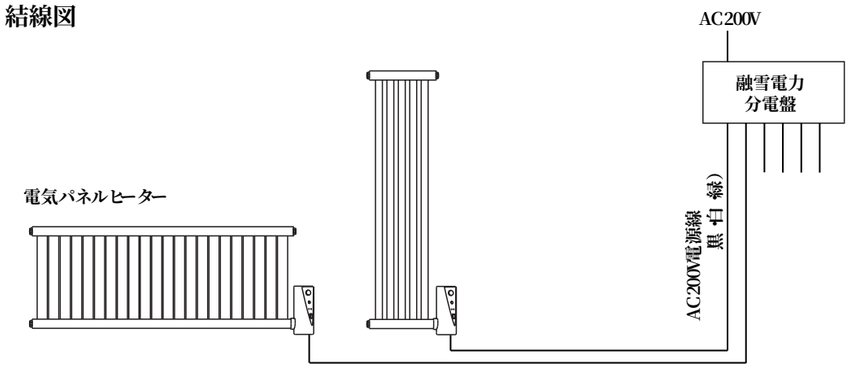
- 電気パネルヒーターを収納棚内に設置したり 前面に障害物を置かないでください。

⚠注意
電気パネルヒーターを収納棚内に設置しますと著しく暖房性能が低下し、また収納棚が変形することが考えられますので十分注意してください。



配線の接続方法

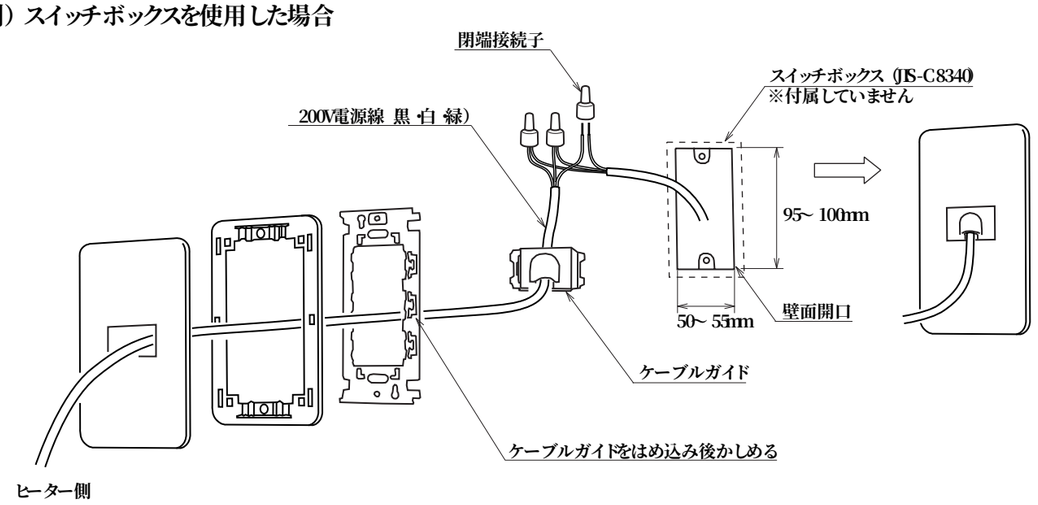
結線図



① 分電盤からパネルヒーターへ配線してください。
・雷や地震対策を施した分電盤の使用をお薦めします。 例：避雷器や感震機能付）

② AC200V電源線 黒・白 緑）と接続してください。
・付属の閉端接続子を使用し結線してください。
※CE5形 電線抱合範囲 2.5~ 6.0mm²）ですので、適合外の場合は別途適合するものをご使用 ください。
・AC200V電源線に負担がかからなよう余裕をもたせた配線をしてください。
・結線後は付属の配線カバーを使用してカバーしてください。

例）スイッチボックスを使用した場合

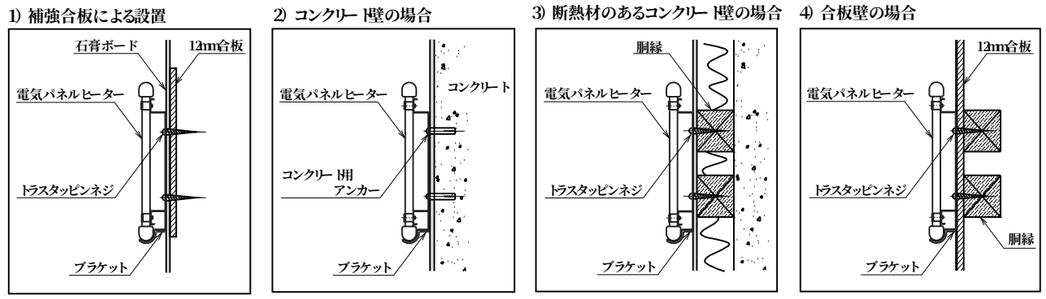


⚠警告

・電気設備技術基準および内線規定に基づいて必ず有資格者が行ってください。
・ブレーカーや電線の太さは内線規定に定められたものを使用してください。
・有資格者によるアース工事を必ず行ってください。

壁構造の確認

電気パネルヒーターを壁に取り付ける際、壁の補強等を建築側に必ず依頼してください。
補強が出来ない場合は、取り付けが出来ない場合があります。

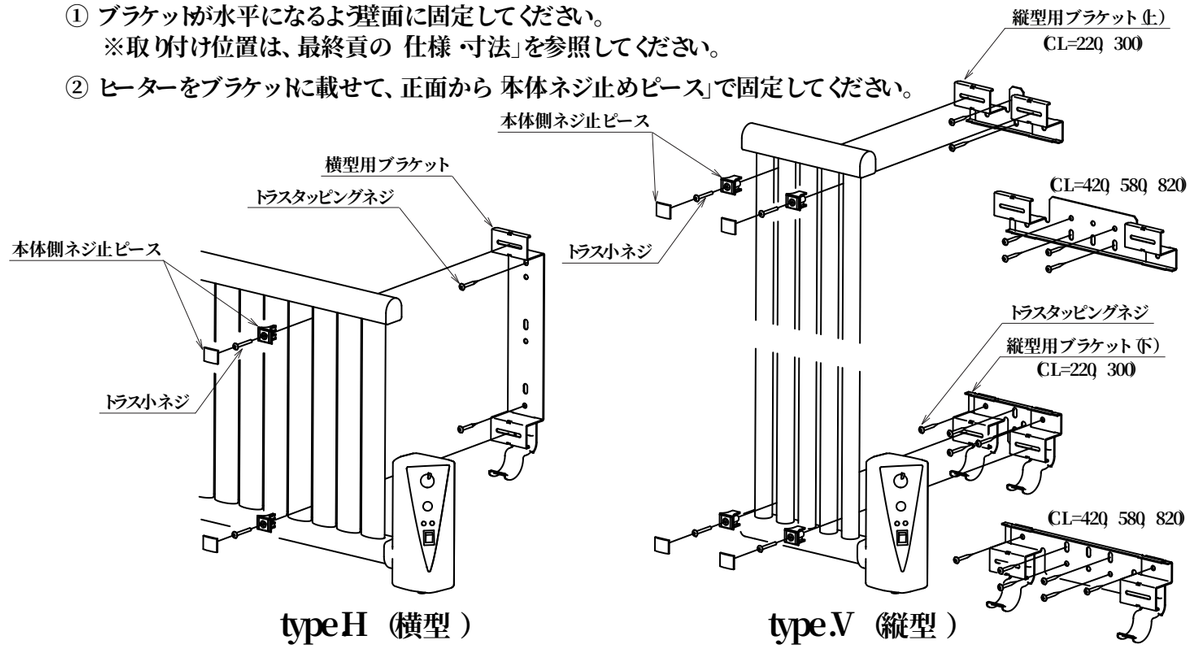


・各電気パネルヒーターの外形寸法と据付寸法を参照し、固定ビスの取り付け位置を確認してください。
・強度のない壁に取り付ける場合は、必ず固定ビス取り付け位置に合板か胴縁を取り付けてください。
・コンクリート壁に取り付ける場合は、固定ビス取り付け位置にコンクリートドリルで下穴を開け、
コンクリート用アンカーを取り付けてからビスで固定してください。

ヒーターの取り付け

① ブラケットが水平になるよう壁面に固定してください。
※取り付け位置は、最終頁の 仕様・寸法」を参照してください。

② ヒーターをブラケットに載せて、正面から 本体ネジ止めピース」で固定してください。



⚠注意

・据付け時の本体離隔距離は、最終頁の 仕様・寸法」の値を確保してください。
・据付け部の強度が十分にあることを確認してください。
・浴室などの湿気の多いところには据付けないでください。
・屋内設置型ですので屋外には据付けないでください。
・室温検知部の周囲が物等で塞がるような場所には据付けないでください。
また、パネルヒーターを物等で覆わないでください。
・ 本体側ネジ止ピース」はネジを締込み過ぎると割れる恐れがあります。
締込みは通常の手締め （1.5N・m程度）で行ってください。
特に冷えている状態では 2.5N・m程度で割れることがあります。）